



令和4年度 川崎市債説明会

第1部 川崎市の行財政運営について

～「最幸のまち かわさき」をめざして～

2023年3月



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

首都圏の中央部に位置する川崎市

■ 電車でのアクセス



品川まで **8分**



羽田空港まで **13分**



横浜まで **7分**

- ★首都圏の中央部に位置
- ★羽田空港に隣接

※表記の時間は電車を利用した場合の最短時間

羽田連絡道路「多摩川スカイブリッジ」 令和4年3月12日完成

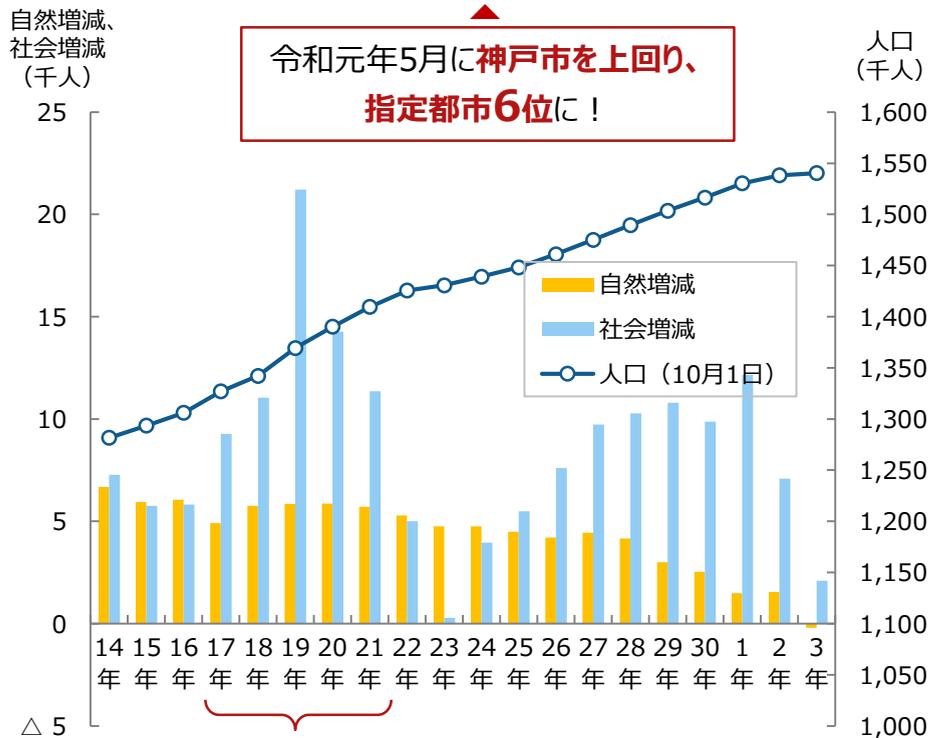


橋長約 675m 川崎区殿町から羽田空港まで車で5分以内に到着！

川崎市の人口 ～川崎市の人口増加 川崎は選ばれる都市～

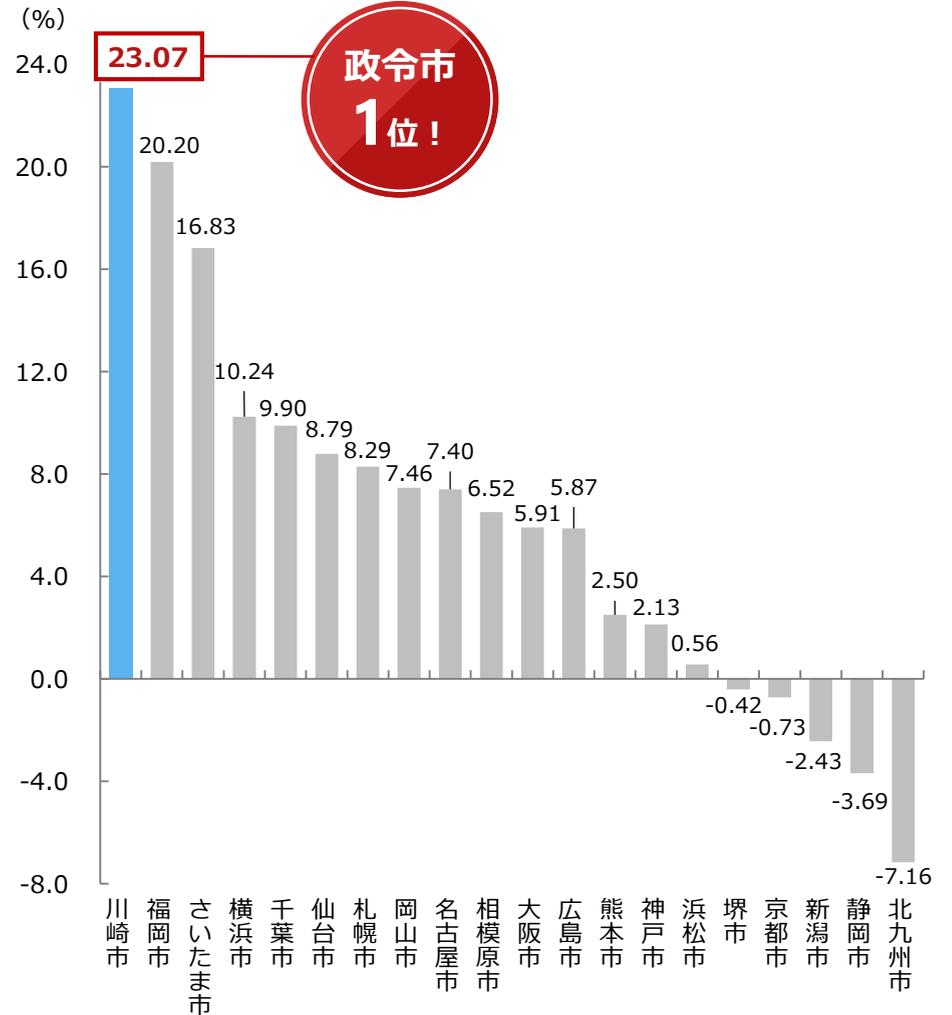
人口・自然増減・社会増減の推移

人口は153万8,998人（R5.3.1現在）



武蔵小杉駅周辺を中心とした市内の再開発による増加

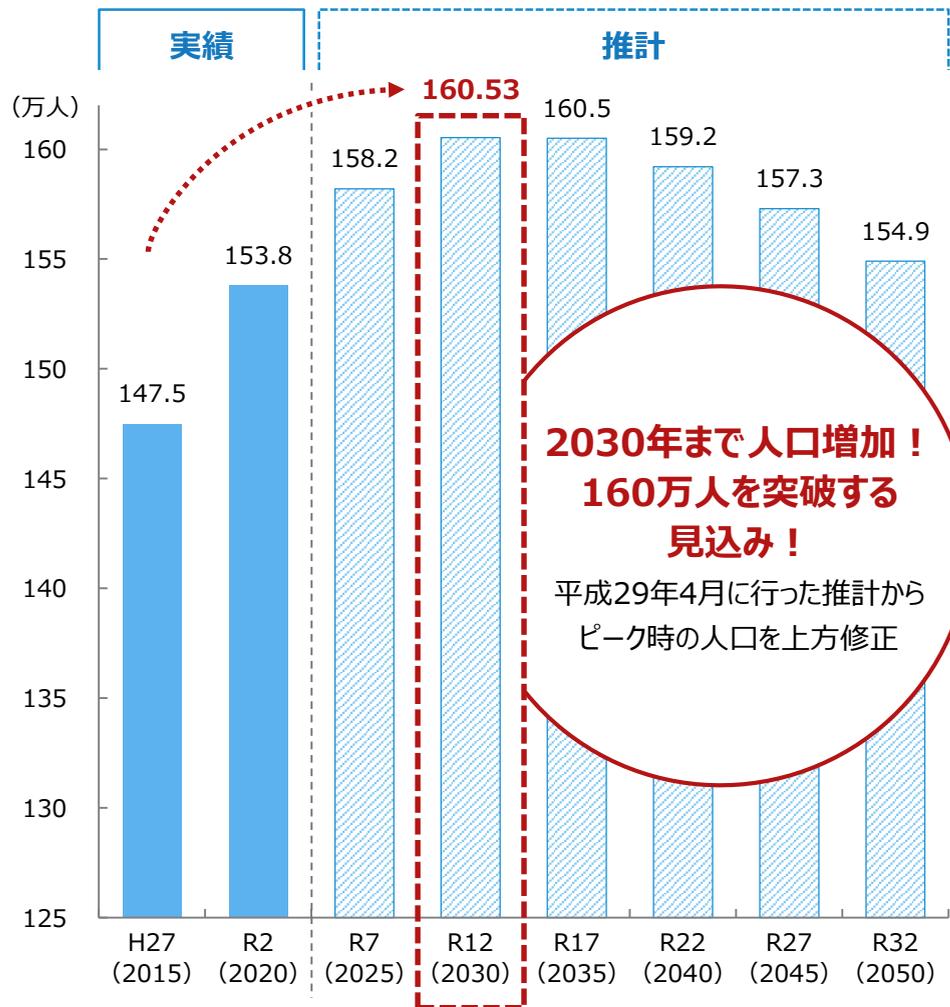
20年間の人口増加率



出典：令和2年、平成12年国勢調査に基づき川崎市が算定

川崎市の人口 ～今後も見込まれる人口増加～

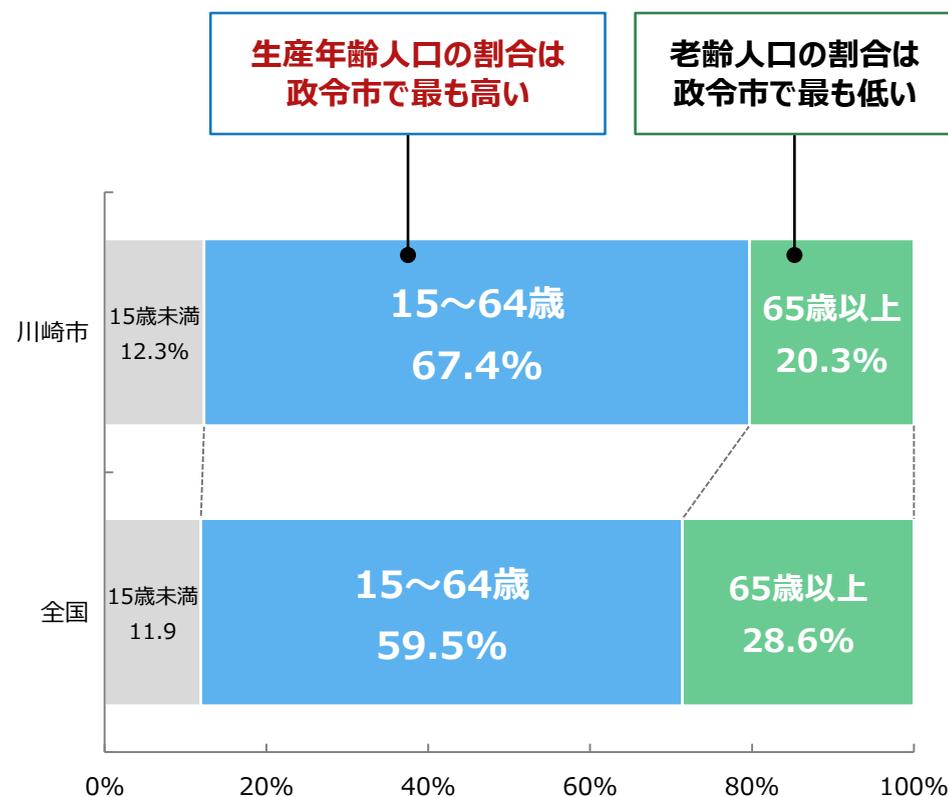
人口の増加状況と将来推計



出典：川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

年齢構成からみる人口

**若い世代が支える活気ある都市！
平均年齢は43.7歳で大都市中最も低い！**



出典：令和2年国勢調査に基づき川崎市が算定

川崎市の経済 ～製造業がさかんなまち～

● 製造品出荷額等 (百万円)

(令和2年工業統計調査)

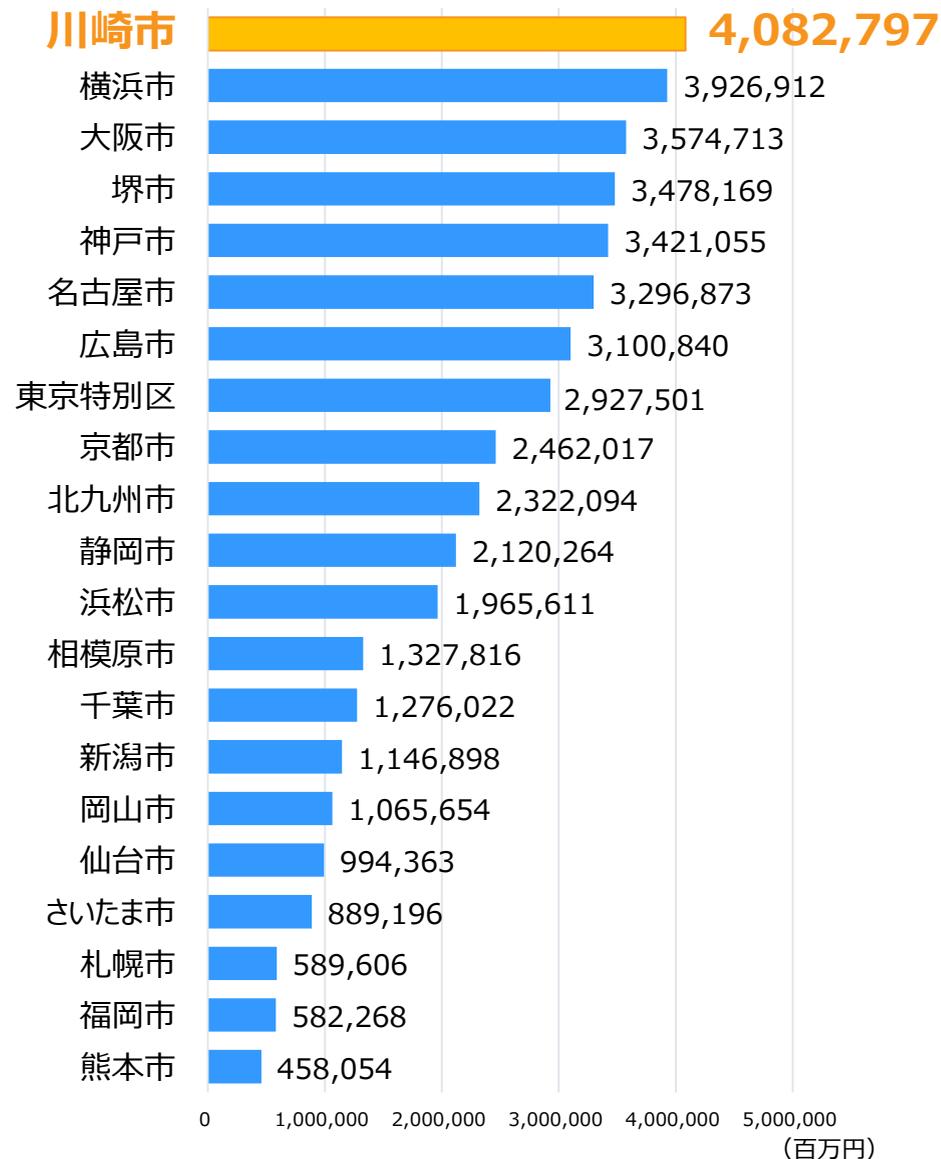
第1位

 **4,082,797**

百万円

大都市で最も高い！

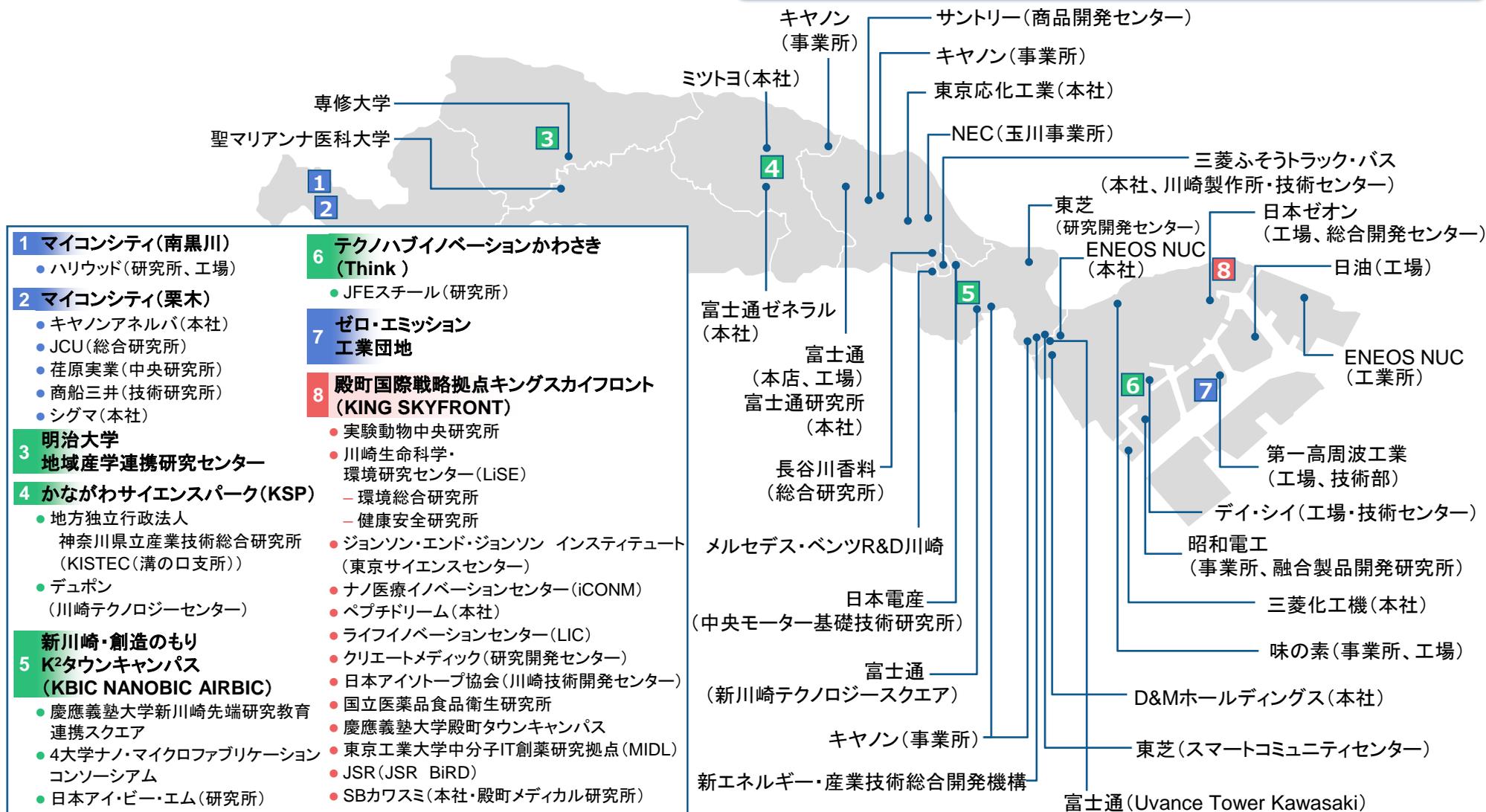
1位	川崎市	4,082,797
2位	横浜市	3,926,912
3位	大阪市	3,574,713
4位	堺市	3,518,667
5位	名古屋市	3,490,381



世界的企業と研究開発機関の集積

550以上の研究開発機関が立地し、研究者・技術者が集結

学術研究、専門・技術サービス業の従事者割合 大都市 1位!



めざす都市像とまちづくりの基本目標（川崎市総合計画）

めざす都市像

成長と成熟の調和による

さいこう

持続可能な最幸[※]のまち かわさき

※「最幸」とは・・・川崎を幸せのあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

まちづくりの基本目標

- 安心のふるさとづくり（成熟）
- 力強い産業都市づくり（成長）

5つの基本政策

生命を守り
生き生きと
暮らすことが
できるまちづくり

子どもを
安心して育てる
ことのできる
ふるさとづくり

市民生活を
豊かにする
環境づくり

活力と
魅力あふれる
力強い
都市づくり

誰もが
生きがいを持てる
市民自治の
地域づくり

実施計画

第3期実施計画（令和4年度～令和7年度）
に基づく取組を推進

SDGsの達成に向けた取組を一体的に推進

市制100周年に向けた取組の推進

川崎市市制100周年記念事業のコンセプト

● 2024年に迎える市制100年に向けて、市ブランドメッセージ「Colors, Future! いろいろって、未来。」を実現する取組を「Colors, Future! Actions」としてオール川崎市で展開

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきたたくさんの人たちに感謝を抱きながら、あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

● 取組の目印として、15のActionテーマを設定

 ACTION 01 グリーン・コミュニティ	 ACTION 02 ブランディング	 ACTION 03 ビジネス・イノベーション	 ACTION 04 ネクストジェネレーション	 ACTION 05 名物フード
 ACTION 06 テアアップ	 ACTION 07 ナイトタイムエコノミー	 ACTION 08 サステナブル	 ACTION 09 イベント・森	 ACTION 10 Well being
 ACTION 11 グローバル	 ACTION 12 アート&ミュージック	 ACTION 13 スポーツ	 ACTION 14 学び	 ACTION 15 安全・安心

実行委員会の設立

- 推進体制として緑化フェアと合同で設立
設立時：276団体 → 1月時点：303団体



記念事業の展開イメージ

- 多様な主体がつながり重なり合いながら、各主体が主役となって事業を展開

地域のこどもの笑顔を守るフードアクション
川崎フロンティア・市内企業等との連携による「あたらしくも豊か」な食生活の実現

学校の特別教室などの施設を地域に開放
Kawasaki 新空間シェアリングプロジェクト

Action!!



「Colors, Future! Actions」
プラットフォーム



オール川崎市で、次の100年に向けて「あたらしい川崎」をつくっていきます。

全国都市緑化かわさきフェア開催

● 全国都市緑化かわさきフェアについて

本市は、市制100周年を迎える令和6(2024)年に、第41回 全国都市緑化かわさきフェアを開催します。かわさきフェアでは、これまでのみどりの歴史や強み等を振り返りながら「みどりについて市民の皆さまと一緒に考え行動することで、新たなみどりの文化を醸成し、だれもが住み続けたいまちへとつなげていく」、そのための大きなチャンスであると捉え、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信します。

● みどりのまちづくりに向けた取組

かわさきフェアを契機として、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、誰もが心豊かな暮らし（ウェルビーイング）を実現し、住み続けたいと思われ続けるようなまちをつくるため、目指すべき将来像を設定しました。

〔目指すべき将来像〕

みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち

目指すべき将来像の実現に向けて、かわさきフェア開催以降にもつなげる様々な取組を、かわさきフェア開催前から展開していきます。

● 基本的事項

- 開催期間 令和6年度 秋・春の2期開催
(令和6年10月下旬、令和7年3月下旬)
- 会場 コア会場 : 富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等 : 駅、商業施設、民有空地、区役所、
緑化推進重点地区、公園緑地、
バーチャル会場 など

統一主題 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

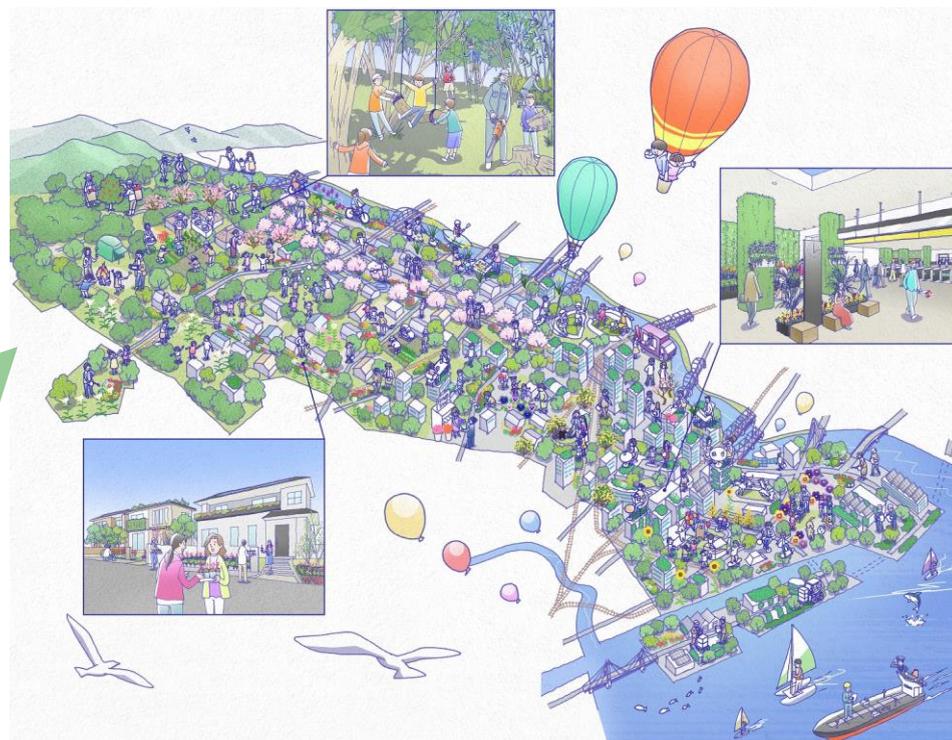
愛称 「Green For All KAWASAKI 2024」

シンボルマーク

みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動（アクション）がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見たてて表現しています。



Green For All
KAWASAKI
2024



脱炭素社会の実現に向けたカワサキのチャレンジ

- 2019年7月
SDGs未来都市に選定



- 2020年2月
国に先駆けて
カーボンニュートラル宣言



- 2020年11月
脱炭素戦略「かわさき
カーボンゼロチャレンジ
2050」を策定



⇒2050年のカーボンニュートラル実現に
 向けた方向性を整理

- 2022年3月
川崎市地球温暖化対策
推進基本計画を改定



基本計画の2030年度削減目標等

市域目標

市域全体

2030年度までに▲50%削減 (2013年比)
 ※1990年比▲57%削減

民生系目標

2030年度までに▲45%以上削減 (2013年比)
 民生家庭・民生業務

産業系目標

2030年度までに▲50%以上削減 (2013年比)
 産業・エネルギー転換・工業プロセス

市役所目標

2030年度までに▲50%以上削減 (2013年比)
 市公共施設全体

再エネ目標

2030年度までに33万kW以上導入 (2013年比)

⇒国の削減目標 (▲46%) よりも高い削減目標を設定

脱炭素社会の実現を目指し、エネルギー転換に挑戦！

川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」



● 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」



市内でSDGsに取り組む企業、団体を市が登録・認証する制度



● 川崎市SDGsプラットフォーム

登録・認証されたみなさんのネットワーク化と、SDGs達成に向けた取組を支援するため、プラットフォームを運営

地域金融機関である「川崎信用金庫」と一体で推進



「かわさきSDGsパートナー」制度と「川崎市SDGsプラットフォーム」の両輪で、市内におけるSDGs達成に向けた取組を加速

脱炭素社会の実現に向けた取組 脱炭素アクションみぞのくち

● 「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」発足（令和3（2021）年3月）

（令和5（2023）年1月時点：**41事業者・団体が加盟**）

高津区役所でのRE100※電力導入（R3.4～）

燃料電池自動車導入（R4.11～）

※100%再生可能エネルギーのこと

東急線全路線でのRE100
※電力導入（R4.4～）

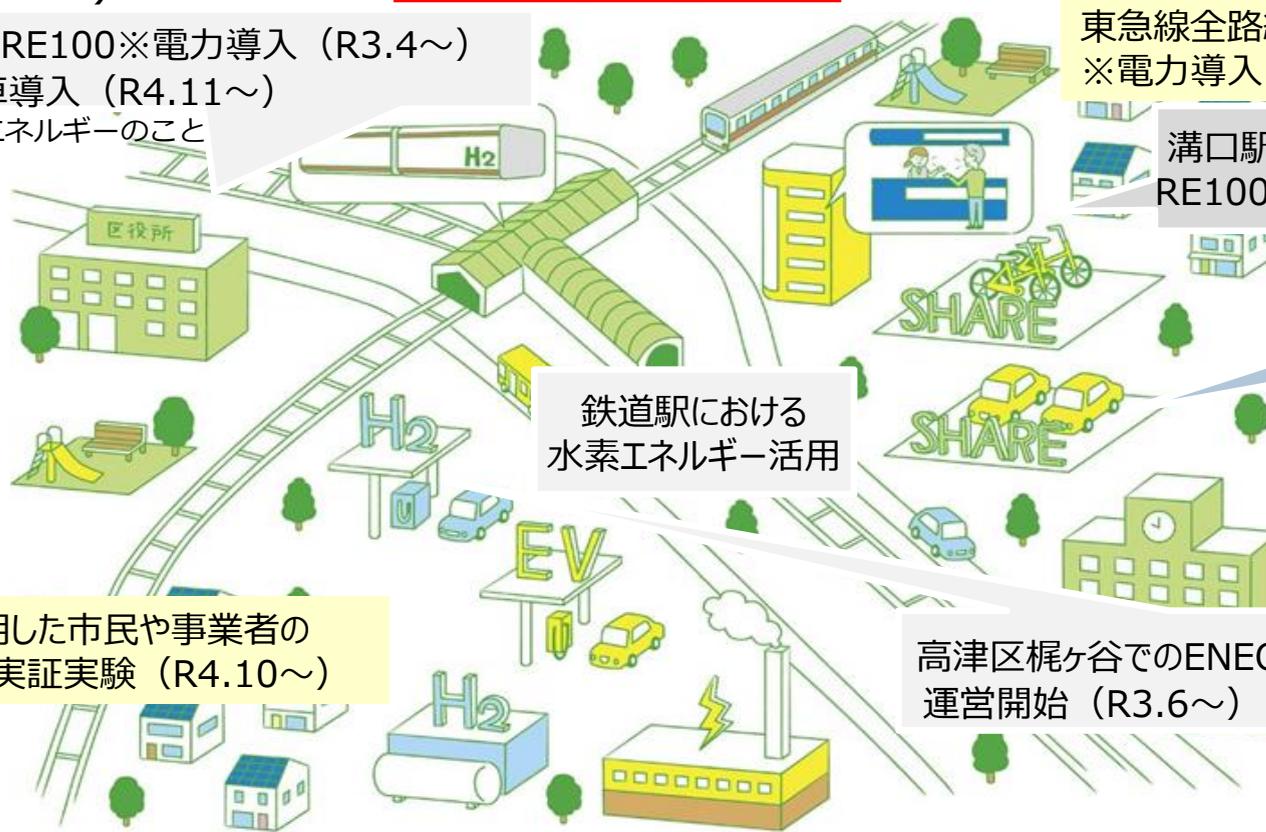
溝口駅前商業ビル「ノクティ」での
RE100※電力導入（R3.4～）

カーシェアリングやシェア
サイクルの活用

鉄道駅における
水素エネルギー活用

高津区梶ヶ谷でのENEOS水素ステーション
運営開始（R3.6～）

スマホアプリを活用した市民や事業者の
行動変容を促す実証実験（R4.10～）



● 国から「脱炭素先行地域」に選定（令和4（2022）年4月26日）

【対象地域】 高津区溝口周辺に所在する民間施設、川崎市のすべての公共施設（約1,000か所）

【取組事業者】 アマゾンジャパン合同会社他、脱炭素アクションみぞのくち推進会議会員企業等（計：民間52施設）

【国からの交付金】 **約50億円**（R4～R8年度）

カーボンニュートラルコンビナート構想

カーボンニュートラル化の進展で発生する課題

臨海部主要産業の衰退が加速するおそれ

新エネルギー産業の地域間競争の激化

既存産業の衰退に伴い、低未利用地の増大や
非関連産業の進出により、コンビナート機能の低下
⇒ **産業競争力低下、税収大幅減**

2050年カーボンニュートラルを踏まえた臨海部エリアの将来像を示し、関係企業等と方向性を共有した上で、その実現に向けた取組を進めることにより、カーボンニュートラルの観点で日本を牽引する新たなコンビナート地域を構築する

既存機能

+

新機能

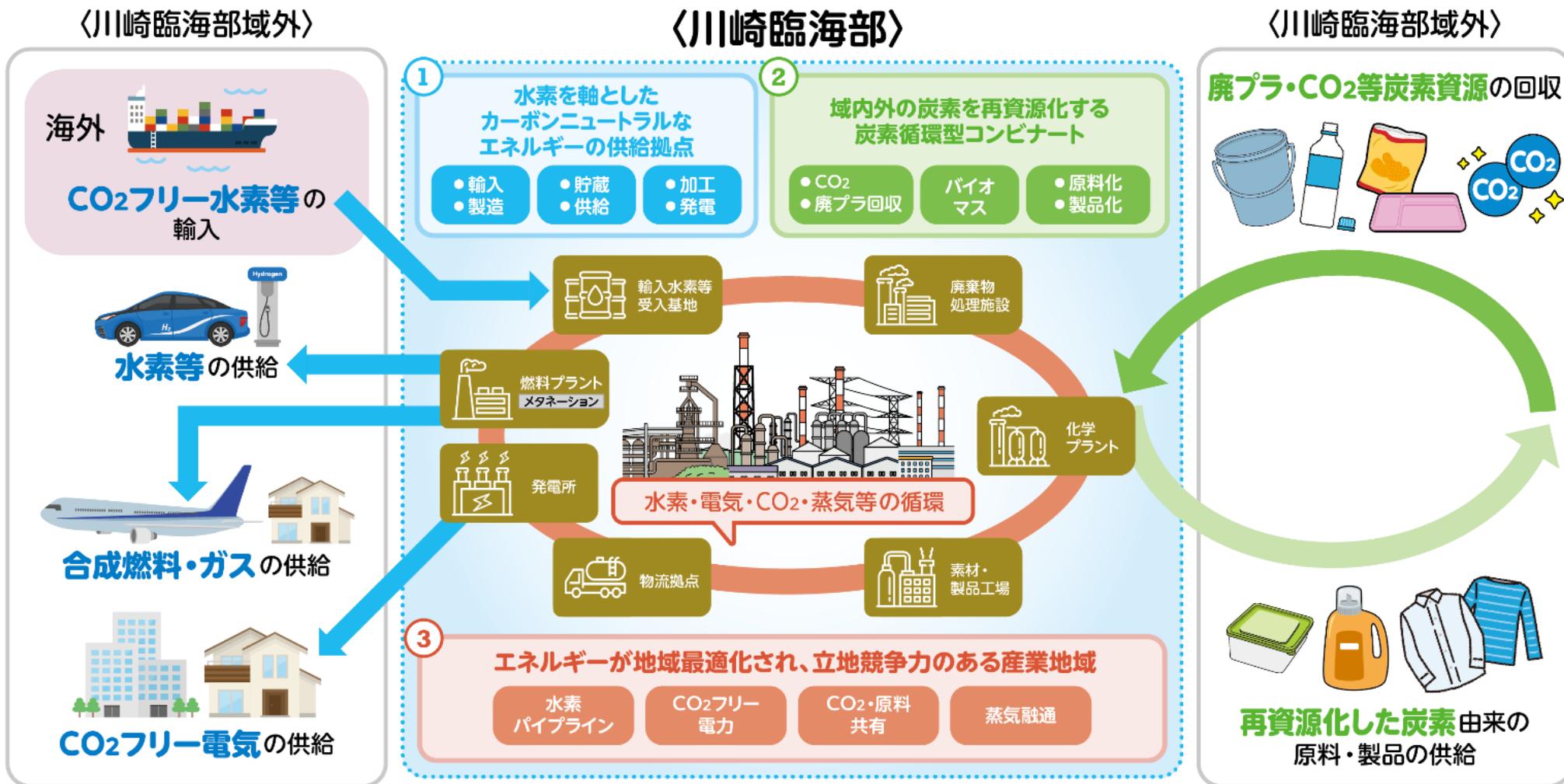
新たなコンビナート



カーボンニュートラルで日本を牽引するコンビナートへ！

カーボンニュートラルコンビナート構想

2050年の川崎臨海部のイメージ図



海外や地域のCO₂フリー水素等から、モビリティ燃料や電気等を製造し、首都圏に供給するカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点が形成されている。

首都圏の廃プラスチックや臨海部内外のCO₂などの再資源化可能な炭素資源から素材・製品等を製造する、炭素循環型コンビナートが形成されている。

電気、ガス、水素等のエネルギーやユーティリティが地域最適化され、世界最高レベルの安定的かつレジリエントでクリーンなエネルギーネットワークが形成された、立地競争力のある産業地域が形成されている。

脱炭素社会の実現に向けた取組

臨海部のカーボンニュートラル化

- 民間企業等73団体と連携した**国内最大級の官民協議会**によりコンビナート及びポートのカーボンニュートラル化に向け**プロジェクト創出の取組を実施**



【概要】：「川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会」及び「川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会」を新たに設置し、合同開催

【会長】：川崎市長 **－ 学識者3名、民間企業71社、官公庁2機関** **－**

【学識会員】：橘川 武郎 国際大学副学長、平野 創 成城大学教授、中垣 隆雄 早稲田大学教授

【企業会員】：川崎臨海部（コンビナート）に立地する企業、水素関連企業、炭素循環関連企業、

港湾関連企業、金融機関 等71社 及び経済産業省関東経済産業局、国土交通省関東地方整備局

【オブザーバー】：環境省、経済産業省、国土交通省、横浜市

官民連携によるプラットフォームを組織し、
企業間連携によるプロジェクト創出に取り組む！

旺盛な水素需要・供給と水素パイプライン

● 国内水素需要の約 10分の1を川崎臨海部が占める

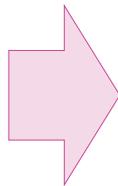


エリア内に広く水素パイプラインが敷設
産業用として全国トップレベルの規模の供給・需要量がある

市内リサイクラーのリサイクル能力

● 市内の優れた環境技術・環境産業の集積

【JFEプラリソース株式会社(川崎区水江町)】



使用済プラスチックの再生 (マテリアルリサイクル)

【ペトリファインテクノロジー株式会社(川崎区扇町)】



ペットボトルの再生 (ケミカルリサイクル)

● 市内リサイクラーのリサイクル能力

リサイクル能力は、市内のペットボトルとプラ製容器包装の年間排出量を上回る。

	市内年間排出量 (R3)	リサイクル能力
ペットボトル	約5,300トン	約4万トン (約7倍)
プラスチック製容器包装	約14,000トン	約20万トン(約14倍)



RESONAC

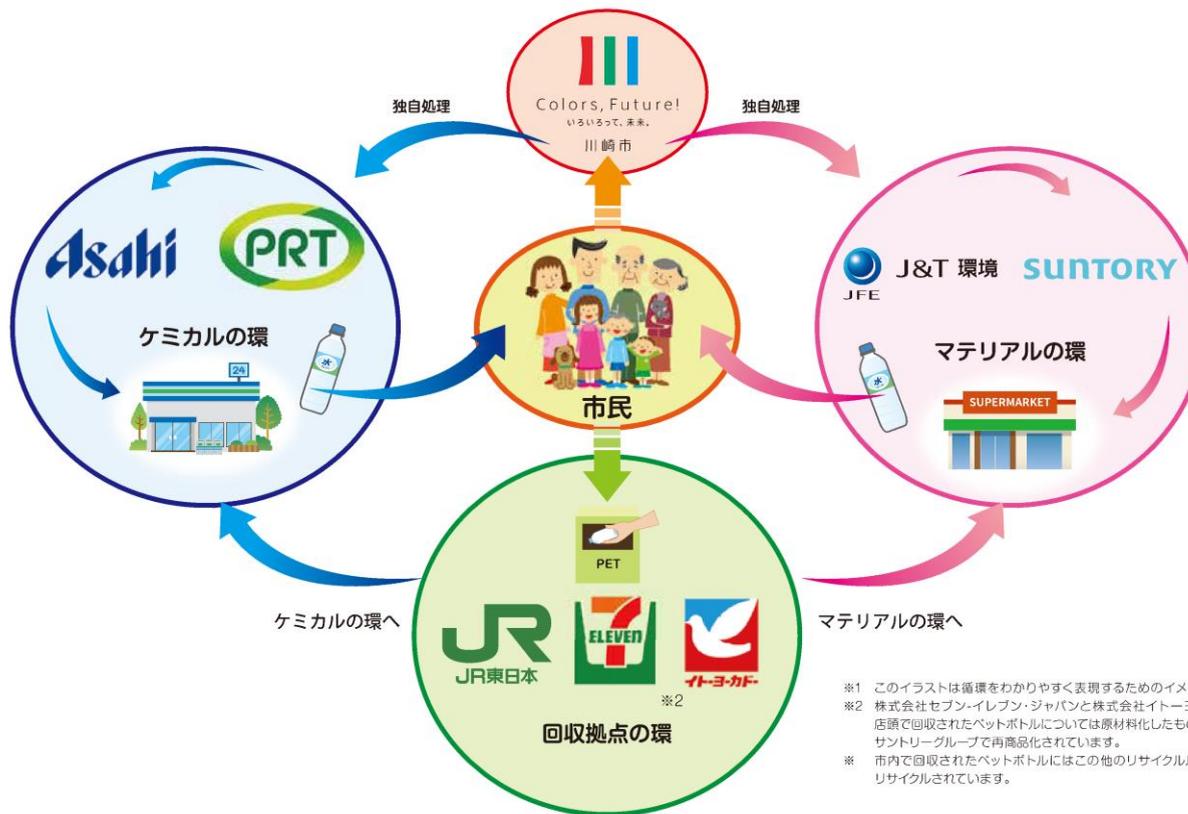


プラスチック資源の市域内循環

●「かわさきプラスチック循環プロジェクト」の設立 (令和4(2022)年4月19日)

川崎を拠点に企業8社と連携し、プラスチック資源循環や拠点回収等の取組を推進

かわさきプラスチック循環プロジェクト 川崎モデルの3つの環 イメージ ※1



※1 このイラストは循環をわかりやすく表現するためのイメージです。
 ※2 株式会社セブン-イレブン・ジャパンと株式会社イトーヨーカ堂の店舗で回収されたペットボトルについては原材料化したものの一部がサントリーグループで再商品化されています。
 ※ 市内で回収されたペットボトルにはこの他のリサイクルルートでもリサイクルされています。



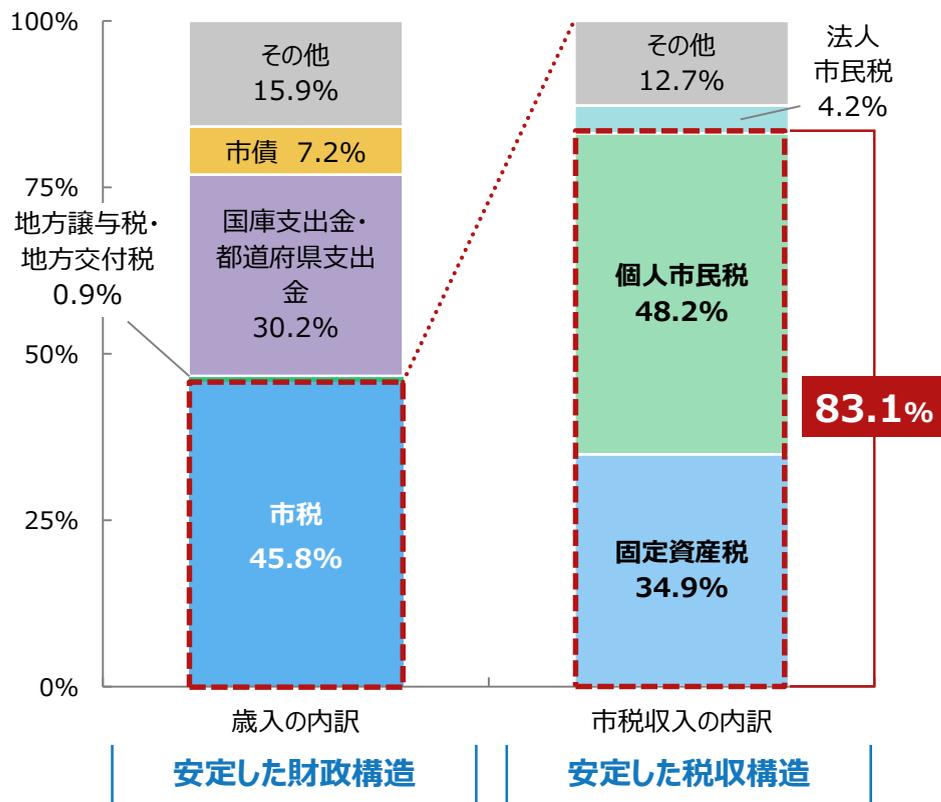
※令和5年1月時点：登録事業者8社



川崎から始めるプラスチック資源の市内循環

安定した税収構造

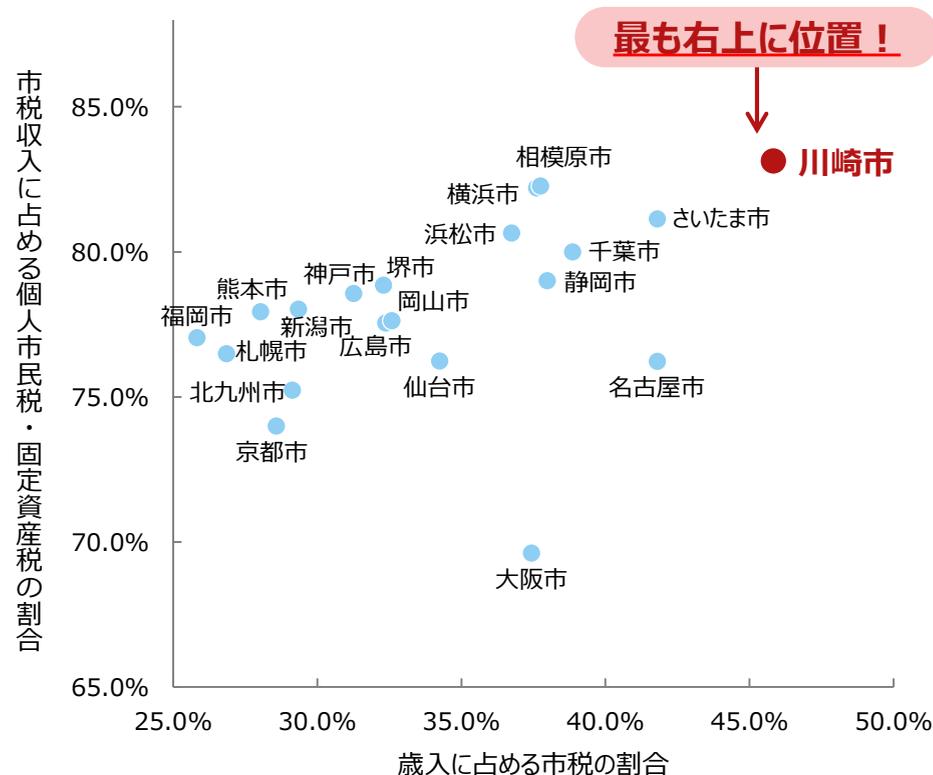
歳入構造（令和3年度 普通会計決算）



市税（特に、個人市民税・固定資産税）の割合が高い

安定した税収構造

歳入構造の指定都市比較（令和3年度 普通会計決算）

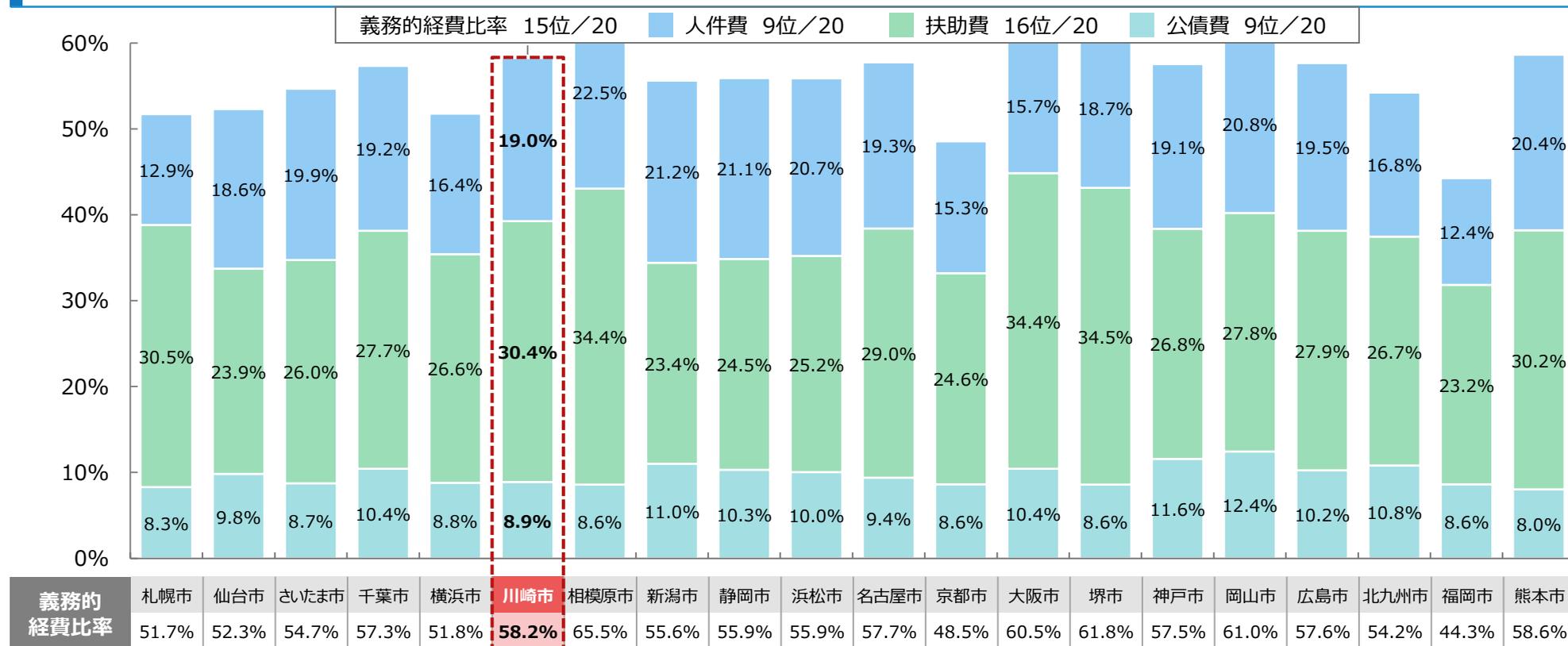


歳入に占める市税収入の割合
市税収入に占める個人市民税・固定資産税の割合

指定都市の中で最上位

歳出構造の分析

歳出に占める義務的経費比率の指定都市比較（令和3年度 普通会計決算）

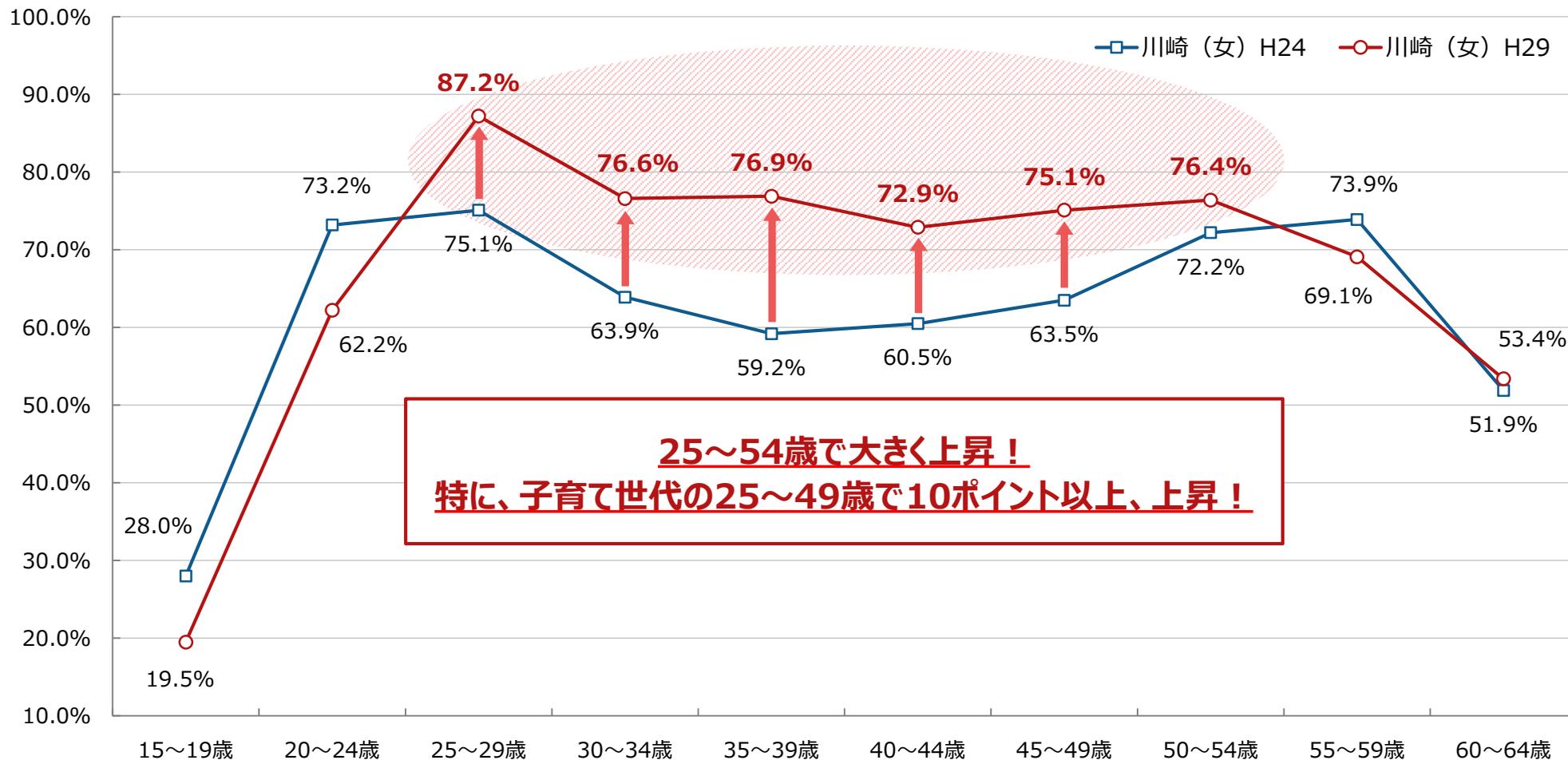


(数値が小さい方からの順位)

義務的経費	58.2%	第15位	
人件費	19.0%	第9位	
扶助費	30.4%	第16位	待機児童対策など喫緊の課題にしっかり対応
公債費	8.9%	第9位	

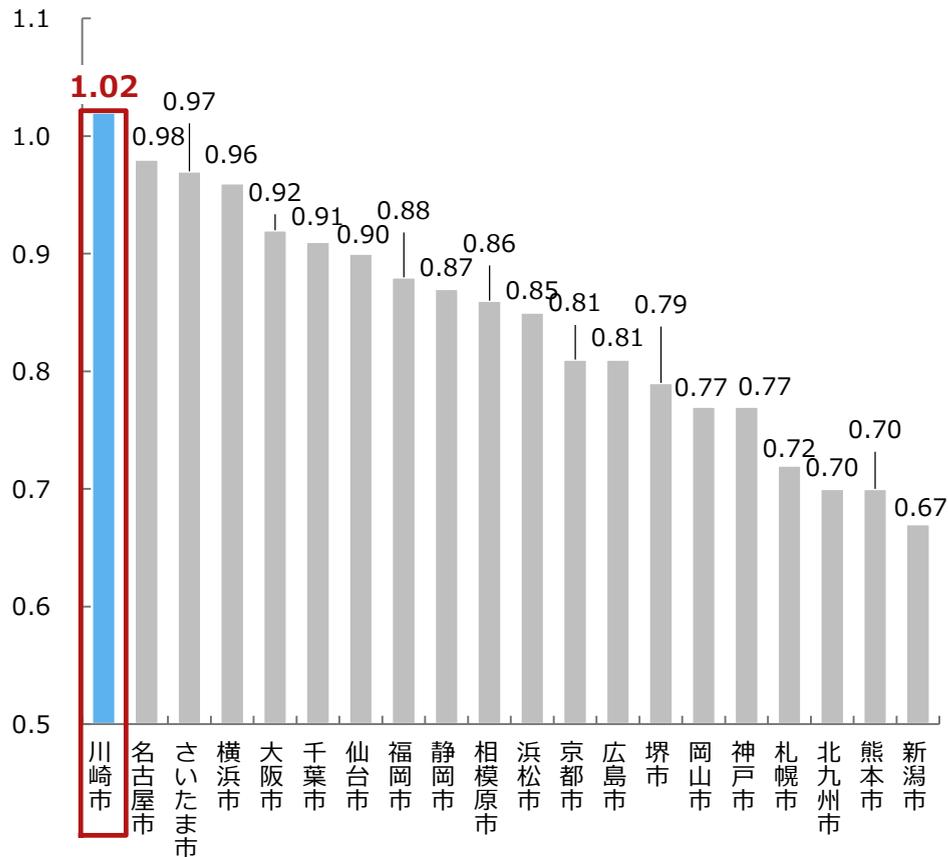
川崎市の「有業率」事情

川崎市の有業率 H24～H29比較



財政力指数、地方財政健全化指標

財政力指数（R1年度～R3年度の平均）



財政力指数 1.02
→ **指定都市の中で1番高い**

出典：地方財政状況調査

地方財政健全化指標

地方財政健全化指標	川崎市 R3年度決算	【参考】早期健全化基準
実質赤字比率	— 【赤字となっていない】	11.25%
連結実質赤字比率	— 【赤字となっていない】	16.25%
実質公債費比率	8.5%	25.0%
将来負担比率	123.4%	400.0%
資金不足比率 (企業会計)	— 【資金不足となっていない】	20.0%

**健全化指標については、
いずれも早期健全化団体となる基準を下回る**

出典：地方財政状況調査

～第3期実施計画の2年度目の予算～ 未来への投資予算

一般会計当初予算 8,673億円 (対前年度 △112億円、△1.3%)	市税収入	3,812億円 (対前年度 +141億円、+3.8%) (過去最大)
	市債	657億円 (対前年度 △274億円、△29.4%)
	減債基金新規借入金	120億円 (平成24年度決算からの借入総額は841億円)

社会経済環境の変化にも的確に対応して

『成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき』の実現をめざします

安心のふるさとづくり (成熟)

- 川崎らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた取組**
 多様な主体による具体的な取組の推進と全世代・全対象型地域リハビリテーションの推進
協働により、心がつながるコミュニティづくり
 「市民創発」による持続可能な暮らしやすい地域の実現に向けた取組の推進
- シティプロモーションの推進**
 市制100周年に向けた取組や川崎の特性を活かした観光の振興
- 未来を担う人材の育成**
 スクールカウンセラーの配置拡充等による児童生徒一人ひとりに寄り添った教育支援
- 質の高い保育・幼児教育の推進や児童家庭相談支援体制の強化**
 小児医療費助成制度の拡充等による児童家庭支援体制の強化

力強い産業都市づくり (成長)

- 脱炭素化の推進**
 2050年の脱炭素社会実現に向けたグリーンイノベーションの推進
- 臨海部の活性化**
 「臨海部ビジョン」に基づく戦略的マネジメントや新産業創出拠点の形成等の取組の推進
- デジタル化・国際化に対応したイノベーションの推進**
 新産業の創出に向けたオープンイノベーションの推進、社会全体のデジタル化の推進
- 広域拠点・地域生活拠点等の整備**
 駅周辺地区の整備による都市基盤の整備、利便性の高い地域生活拠点等の形成の推進
- 緑と水の環境形成・魅力にあふれる公園緑地のパークマネジメント**
 新たな公園の価値の創造、緑あふれる公共空間の創出に向けた取組の推進

「成長」と「成熟」を支える基盤づくり

- 災害時の拠点となる本庁舎等の建替え**
 災害に強く、迅速に復旧できる基盤の構築
- 感染症への的確な対応**
 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じた、国や県、医療機関等と連携した的確な対応
- 地方分権改革の推進**
 特別市の実現を含めた地方分権改革に向けた取組の推進
- デジタル化の推進**
 デジタル技術とデータを活用した市民サービス向上と市役所内部の業務改革の推進

「川崎市行財政改革第3期プログラム」（令和4（2022）～令和7（2025）年度）に基づく改革の推進

計画の目的と位置付け

総合計画に掲げる政策・施策の推進による「成長と成熟の調和による持続可能なまち かわさき」の実現に向け、**必要な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報の確保等を行う**ことで、将来にわたり持続可能な行財政基盤を構築するとともに、質の高い市民サービスを安定的に提供することで、**市民満足度の向上を図りながら、効率的・効果的かつ安定的な行財政運営を行うことができるよう、行財政改革の取組を推進します。**

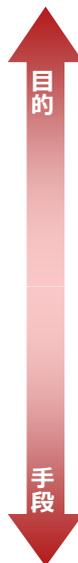
「成長と成熟の調和による持続可能な
最幸のまち かわさき」の実現

「川崎市総合計画」に掲げる政策・施策の推進

行政改革

取組の4つの柱

取組1	取組2	取組3	取組4
社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築	市役所の経営資源の最適化	多様な主体との協働・連携の更なる推進	庁内の人材育成と意識改革



「川崎市行財政改革第3期プログラム」等の取組により、**R5（2023）予算において、53億円の財政効果を確保**

組織の最適化

- 学校用務業務執行体制の見直し
- 小学校給食調理業務の委託化

財源確保策の強化

- 市税収入率の更なる向上
- 市税以外の債権における収入未済額の縮減

戦略的な資産マネジメント

- 財産の有効活用

公営企業の経営改善

- 上下水道事業における資産の有効活用

将来を見据えた市民サービス等の再構築

- 全庁的な補助・助成金の見直し
- 障害者施設運営費補助の見直し

今後の財政運営の基本的な考え方

「必要な施策・事業の着実な推進」と、「持続可能な行財政基盤の構築」の両立が必要であることから、次の基本的な考え方に基づく財政運営を進めます。

効率的・効果的な
事業執行の推進

税源涵養に向けた
取組の推進

財源確保に向けた
取組の推進

将来負担の抑制

「収支フレーム」に
沿った財政運営

財政運営の
「取組目標」の設定

【持続可能な行財政基盤の構築に向けての指針 収支フレーム（一般財源ベース）】令和4年3月改定

区分	収支フレーム					収支見通し				
	R4予算	R5見込	R6見込	R7見込	R8見込	R9見込	R10見込	R11見込	R12見込	R13見込
市税	3,675	3,735	3,752	3,806	3,836	3,855	3,887	3,917	3,936	3,956
その他	646	647	641	654	668	659	660	662	654	626
歳入合計	4,321	4,382	4,393	4,460	4,504	4,514	4,547	4,579	4,590	4,582
減債基金 返済							20	20	20	20
投資的経費	315	295	251	241	240	244	234	271	264	246
一部の社会保障関連経費	1,100	1,132	1,149	1,175	1,195	1,205	1,215	1,226	1,236	1,244
公債費（諸費を除く）	691	698	695	685	666	660	660	640	657	653
管理的経費・政策的経費	2,454	2,463	2,418	2,408	2,393	2,397	2,400	2,407	2,396	2,402
歳出合計	4,560	4,588	4,513	4,509	4,494	4,506	4,529	4,564	4,573	4,565
収支	▲239	▲206	▲120	▲49	10	8	18	15	17	17
減債基金からの新規借入 想定額	239	206	120	49	0	0	0	0	0	0

	R4補正後 予算	R5予算
減債基金からの新規借入額	194	120

限られた財源・人的資源などの経営資源を最大限活用する視点から、より一層効率的・効果的な行財政運営と市民満足度のさらなる向上に向けて、事業の見直しなどの取組を進めていきます。

令和5年度 市債発行計画

- 全会計合計借入予定額は1,531億円（昨年度比△93億円）
うち民間資金合計額は1,260億円
- 市場公募債の発行予定総額は1,000億円（昨年度比△100億円）
うち川崎市個別発行分は850億円

- 市場のニーズに応える観点などから、フレックス350億円を設定（グリーンボンド100億円はフレックスから発行）
- 中期、長期、超長期の構成比は、概ね1/3ずつ（フレックスを除く）
- 銀行等引受債の発行予定総額は260億円

区分	発行年限	発行総額 【億円】	R4										R5			出納整理 期間	スポット 発行		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
市場公募債	川崎市個別発行 全国型市場 公募地方債	5年	300	100			100				100								
		10年	100										100						
		超長期	100																100
		フレックス	350																350
	共同発行	10年	150	90			10				20					30			
	市場公募債合計		1,000																
銀行等引受債	証書借入 又は証券 発行	5年・その他	105												22	83			
		10年	155										50	87	19				
	銀行等引受債合計		260																
民間資金合計		1,260																	
公的資金		271														271			
全会計合計		1,531																	

※ 上表は、今後の状況、調整により変更する場合があります。
※ 発行総額は、各月単位未満の端数処理により合わない場合があります。

グリーンボンド	発行予定額	100億円程度
	対象予定	● 橋処理センター（バイオマス発電） ● 本庁舎等建替事業（CASBEE Sランク） など